令和6年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立保谷高等学校 学校運営連絡協議会
- (2) 事務局の構成 教諭(教務部)=事務局長、経営企画室長、教務部1名 計3名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭(教務担当、生活指導担当、進路指導担当) 計6名
- (4) 協議委員の構成
有識者(成蹊大学名誉教授)、西東京市教育委員会教育企画課長
西東京市子育て支援子ども家庭支援センター長、地域代表
近隣中学校長、近隣小学校長、PTA会長、PTAむらさき会会長 計8名

2 令和6年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会
 - 第1回 令和6年6月21日(金) 内部委員6名、協議委員6名(2名欠席)
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出
学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題
本校の現状と課題等説明、意見交換
 - 第2回 令和6年11月22日(金) 内部委員6名、協議委員6名(2名欠席)
これまでの教育活動に関する報告、協議委員からの教育活動に対する意見
学校評価の内容検討、協議
 - 第3回 令和7年2月7日(金) 内部委員5名、協議委員5名(3名欠席)
これまでの教育活動に関する報告、協議委員からの教育活動に対する意見
学校評価の報告及び学校運営に関する提言、協議、次年度に向けた方向性の確認
- (2) 評価委員会
 - 第1回 令和6年11月22日(金) 内部委員3名、協議委員2名
学校評価の基本方針の確認、今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討
実施時期の検討、今年度の学校評価の実施に向けた検討
 - 第2回 令和7年2月7日(金) 内部委員3名、協議委員2名
アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理、評価報告書の検討

3 学校運営連絡協議会による学校評価(学校評価報告)

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

・12月 全校生徒	対象：951人	回収：870人	回収率：91.4%
・12月 保護者全員	対象：951人	回収：327人	回収率：34.4%
・12月 地域・住民	対象：	回収：44人	回収率：—%
・12月 教職員	対象：56人	回収：55人	回収率：98.2%
- (3) 主な評価項目
「学校運営に関すること」「学習指導に関すること」「生活指導に関すること」「部活動・特別活動(学校行事等)に関すること」「健康・安全に関すること」「施設・設備に関すること」
- (4) 評価結果の概要
 - ・Web方式にして3年目である。Web方式のため、細かな点での記述が増え、とくに進路指導に対する要望が強い。
 - ・地域の対象を、近隣小中学校の教職員と最上級生の保護者に依頼したことにより、昨年同様、地域の回答数が増加した。
 - ・学校行事(体育祭、文化祭、合唱祭)が学校全体で実施、また保護者へ公開できたことにより、特

別活動などを中心に生徒、保護者はおおむね満足度が高くなっている。ただ合唱祭前に感染者が多く出たことは来年度に向けての課題でもある。

(5) 評価結果の分析・考察

- ・保護者の自由記述で、部活動終了後の下校時間、家庭での学習時間、三者面談、進路についての保護者説明会などの実施についての要望が多い。家庭での学習時間の確保のため、部活動終了時間を含めた検討が必要である。
- ・生徒からは、ごみ箱の設置に関する要望が多い。生徒会、美化委員会を含めた検討、また設置をしていない理由の説明などが必要である。
- ・昨年度より肯定的回答下がっている項目に対して、学校全体で情報共有した上で、改善できる点は改善していく必要がある。
- ・生徒、保護者と教職員の意識に開きがある項目があり、改善すべき点と言える。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・学年通信、進路だより等を Classi で配信、また欠席連絡も Classi を活用することで保護者からは好評を得ている。
- ・生徒、保護者のアンケートの記述から、単語テストや英検など英語に関する本校の取組への満足度が高く、学習や大学進学に向けた進路指導の取組への要望が強いこと、また大学以外の進路指導への要望もあり、個に応じた進路指導への期待が認識できた。
- ・定期考査前の7時間目授業や長期休業中の講習への評価や期待が高い。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・家庭での学習時間確保のための取り組みが不十分であり、最終下校時間を含めた家庭での学習時間確保が課題である。
- ・保護者を交えた進路相談など学習や進路指導への期待が高い。
- ・授業が受け身になることが課題。主体性を育て、自ら学習する姿勢が必要である。また学校行事を活発にし、部活動なども含め生徒の成功体験を増やし、達成感のある体験をさせる。
- ・進路に対する不安が大きい。不安が解消されるような情報発信と生徒に寄り添った進路相談等の取り組みが必要である。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

(1) 学校運営に関すること

○Classi を活用し、欠席連絡、学年だより、進路だより等の配信をおこなうことで、保護者からも良い評価を受けている。

△「自分を高めてくれる学校ですか」「保谷高校に通って成長したと思われませんか」で生徒と保護者で、間隔のずれあり、生徒の満足度を上げるよう学校運営の工夫改善の必要がある。

△保護者の学校経営計画への理解を深めるための手立てが必要

(2) 学習指導に関すること

△「6 自分なりの課題を持って授業に臨んでいるか」の肯定的回答が 60%程度にとどまっていることから、生徒の学習に対する意識改革、また生徒が積極的に学習に取り組むような工夫が必要。

△保護者の回答から、宿題や課題が生徒にとって適切な量であるか、また家庭で学習に取り組む時間があるかなど学校全体での検討が必要

(3) 生活指導に関すること

○SNS の正しい使い方、集団生活の決まりを守ること、良好な人間関係の構築については、生徒の意識も高く、安心した学校生活が送れている。教員側の指導にも一定の効果があると感じる。

△教職員の中での生活指導のブレがある、生徒が不信感を持たないように共通認識の必要あり。

(4) 進路指導に関すること

○全学年三者面談の実施、また学年通信、進路だよりの配信等により生徒と保護者での意見交換など会話の機会が増えている。今後も生徒、保護者に情報を提供し、学校と家庭での連携を高めていく。
△「生徒が将来の展望を持てるように」については、まずは生徒自らがしっかりと考える必要がある。学校としては、キャリア教育を継続して充実させていくとともに、生徒に寄り添った丁寧な進路相談を実施していく。

(5) 部活動・特別活動に関すること

○生徒、保護者、教員で数値のブレはあるが、生徒の部活動、委員会活動に対しての取組は、生徒の主体性を育みながら、前向きに実施できている。今後も継続して、学校行事等を充実させ、仲間と協力する楽しさや達成感を感じさせていきたい。

(6) 健康・安全に関すること

○生徒のルールやマナーを守る意識は高まっていると感じる。ただ自転車のマナーについては、地域からの苦情もあり、今後も継続して指導をしていく必要がある。

△生活習慣については、遅刻が多いので、家庭、学校とで協力しながら進めていきたい。

(7) 施設・設備に関すること

○施設・設備また清掃状況については、肯定的回答が高く、ある程度、学習環境は整っていると感じる。

6 アンケート記述より

【生徒】

○特に効果があること

放課後の教室開放、英検全員受検、夏の保谷、冬の保谷、進路指導、テスト週間での補習や講習

○要望

校則を緩くしてほしい(多数)、ゴミ箱の設置(多数)、進路指導について

【保護者】

○特に効果があること

学年通信や学校からの連絡を Classi で連絡してくれること、進路指導についての取組、長期休業中の講習の実施など。

○要望

HP更新の頻度、進路指導の充実、授業の改善や講習の充実、部活動について、活動時間の短縮、修学旅行について、清掃が行き届いていないなど

【教職員】

○教員間での仕事量の差、行事の精選、部活動の充実、模試分析、下校時間など校内組織に関する記述が多くあり、細かな部分からの改善が必要である。

【地域】

○推進してほしいこと…地域の学校として進学実績の向上、地域との連携、地域小学校との生徒間交流、地域貢献活動

○自転車通学のマナーについては、道路幅が狭いにもかかわらず、並走、一時停止無視などが多い。

指導をしてはいるが、今後も継続して指導をお願いしたいという要望が多い。学校としてはさらに地域と協力して交通安全に取り組む必要がある。

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 14回 延0人 企画調整会議 31回 延0人

8 その他

- ・保護者のアンケート回収率が34.4%であることから回収率を高めるための検討が必要である。
- ・地域に開かれた学校として、地域ボランティア、学校公開等の機会を増やし、学校評価の精度を高めていく。